

ESG投資のための指数「FTSE4Good Index Series」「FTSE Blossom Japan Index」「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に継続採用

2024年7月25日

旭化成株式会社

旭化成株式会社(本社:東京都千代田区、社長:工藤 幸四郎、以下「当社」)は、このたび、「FTSE4Good Index Series」、「FTSE Blossom Japan Index」および「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」に、構成銘柄として継続採用されました。

これらの指数は、ロンドン証券取引所グループのFTSE Russell社が開発したもので、ESGの観点から優れている企業を構成銘柄として選定するものです。このうち、「FTSE Blossom Japan Index」と「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、世界最大の投資家とされる年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が、ESGに関する投資を行う際に活用する指数です。

なお、当社はGPIFが採用しているESG投資の指数の構成銘柄として、「FTSE Blossom Japan Index」、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」のほか、「MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」、「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」、「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」、「Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index」に採用されています。

当社は、持続可能な社会の実現に向けて「Care for People, Care for Earth」(人と地球の未来を想う)の視点から引き続き取り組んでまいります。

▶ 旭化成グループのサステナビリティについて

以上

▶ [ニュース一覧へ](#)